



北海道札幌国際情報高校

Hokkaido Sapporo Intercultural and Technological High School

国際交流の取り組み

Our International Exchange Participants
— We Did It Despite the Challenges —
2021-2022



～主な国際交流実績～

<アジア>

アジア架け橋プロジェクト留学生3名受け入れ (フィリピン、マレーシア、インド)
タイ高校交流 (外務省 JENESYS)
中国瀋陽市東北育才学校交流 *

<オセアニア>

アジア・オセアニアフォーラム (和歌山県教委主催) *
オーストラリア高校交流 (予定) *

<ヨーロッパ・ロシア>

札幌・ノボシビルスク市長会談 *
外務省日露地域交流年開会式イベント参加
JACTFL/SOLIFIC オンラインシンポジウム
「コロナに負けない高校生の若き取り組み」
お琴の会と木村さん (札幌日大中) の日舞
によるコラボレーション動画作成
HIECC 北欧青年交流2021 (スウェーデン) *

<中南米>

AFS 長期留学生受け入れ (アルゼンチン)

<その他>

トビタテ留学 JAPAN! 第7期採用6名
(タンザニア、カナダ2名、オーストラリア2名、マルタ)
Hokkaido Study Abroad (北大・室工大留学生との交流) *
米国日本大使館・UNESCO・中央省庁職員
ウェビナー&意見交換会、映画上映会 *

交流データ

*はオンラインでの実施

姉妹校との交流 Online Exchanges with Sister Schools

A ボストンノーブルズ校
(米国)
Christopher Eaton
クリス・イトン(高3)



I loved talking to the SIT students! My group was full of some very cool and insightful people, we had a great time talking! I appreciate how kind they were and how they were just as curious about our experience as we were of theirs. It was interesting having so many different countries insights, that was really cool. Many of the things that they talked about were way different than what we experience here in the US, like how the school systems and college applications are all very different. I look forward to zooming and talking to my friends again soon!



カーなおみ
(25期 国際文化科)
「教育」というテーマで、アメリカの高校生を相手に英語によるオンラインディスカッションの企画や運営・司会ができたことが大きな自信になりました。事前の米国日本大使館や文科省職員との方との意見交換会を通じ、多面的に学びを深めることができました。

カンボジアを知る講座



東京外大カンボジア語専攻に進学した山下くん、「アジアの架け橋」でカンボジアに留学した森田さんによる講座を生徒向けに配信しました。カンボジア語や歴史、文化を知る貴重な機会となりました。

お琴と日舞のコラボレーション



札幌日大中・木村さんの日舞との共演が実現。留学生にも姉妹校の皆さんにも大好評でした!

B ノボシビルスク
ITリツェイ(ロシア)
バヴェル・マクハ(高2)



コロナのパンデミックのせいで、札幌へ行けなかったのはとても残念です。でも、日本語の勉強も、日本文化の紹介も続けることができました。インターネットやオンラインのおかげで、SITの生徒さんと知り合っ、日本の伝統的な楽器、踊り、歌などを見ることができました。そして、部活動も見ることができました。日本の生徒さんが撮った写真と動画を通して若者の日常生活について分かりました。一番印象的なことは日本の若者が伝統や習慣を大事にすることです。将来、私は日本語が上手になって、日本へ行きたいと思っています。



深尾 奈未
(27期 普通科)
私は海外に行ったことがないので現地の方と交流できたことがとても嬉しいです。

そして、自分のウクレレの演奏を披露する機会も今まであまりなく、まさかロシアの方に聴いてもらえるなんて夢にも思っていなかったもので、とても感動しました。ロシアの生徒さんからの感想もとても嬉しかったです。楽しい国際交流ができ、国際情報高校に入学して良かったと思いました。

Mercury Bay Area School (NZ) との交流



英語で互いの学校や地域を紹介し、特にスポーツや食事の話題で盛り上がりしました。

茶道部



茶道の作法やおもてなしの心を紹介。直接お手前を披露できる日が待ち遠しいです。

C サンクトペテルブルク
583番学校(ロシア)
スラダ・エゴロワ(高1)



オンラインで色々なビデオを見たり、写真をおくったりして、日本の学生と実際に話しているように感じました。私たちは日本の文化に対する興味をもっと深くなりました。それに、SITの皆さんの趣味がとても面白いと思います。ぜひ直接会いたいです!



関川 太一 (26期 グローバルビジネス科)
私たちはクラステーマ「笑う門には福来たる」のイメージをもとに、27thSIT 祭 HR企画で「新型コロナウイルスによる暗い世の中に福を呼び込みたい」という想いを、大きな宝船を作るという形で表現しました。そんな想いをロシア姉妹校の生徒さんに紹介でき、日本語の授業の中で学んでいたことを知り、私たちの想いを海外まで届けることができたような気がして、とても嬉しく、誇りに思います。



D 杉森 裕
(27期 国際文化科)



去年の8月末からカナダのD.W. Poppy Secondary Schoolに留学しています。最近では夢でも英語を喋っている自分がいるほど英語力が向上した、と実感しています。現在学んでいることを帰国後も生かし、英語圏の大学に進学したいと考えています。

北欧青年交流事業(スウェーデン)

伊豆田 はな
(26期 国際文化科)

カテドラル高校との交流により、多種多様な価値観やアイデアを得ながら、作りたい未来を思索していく貴重な経験になりました。



なぎなた部



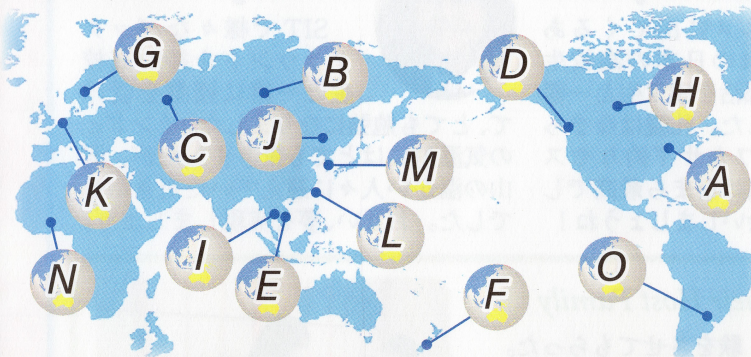
海外からのゲストにいつも好評のなぎなた。武道の心をロシア語で発信しました。

カナダアルバータ州高校生オンライン交流

H 渋谷 凜
(26期 国際文化科)



一対一で毎週2回、様々なテーマについてプレゼンテーションやディスカッションをしたことで、英語での実践的なコミュニケーションに自信ができました。この勢いのまま英語学習・国際交流活動に活発に取り組み、いつか実際にカナダに行って紹介してくれた場所や文化に触れられる機会を作りたいです。スケジュール管理など、文化交流以上の学びとしてもとても良い経験となりました。



世界とつながる卒業生から Messages from SIT Graduates

K ブラウン 柿村愛紗
(22期 国際文化科)

なぜ海外の大学に?と問われれば私は「自分という人間と世界をもっと知りたかったから」と答えます。あふれるほどの探究心があった私は今、政治学と言語学を並行して学び、英語のみならずドイツ語で学ぶなど、日本では取れなかったであろう講義を履修しています。探究心を持ち、視野を広げ、自分で興味のある道を探してみてください。



F スプリング・リック
(23期 理工工学科)

12歳からグライダーを始め、高2の時トビタテ留学 JAPAN で NZ ヘグライダー留学、そして現在もパイロットを目指して NZ で学び続けています。"Time is free, but it's priceless. You can't own it, but you can use it. You can't keep it, but you can spend it. Once you have lost it, you can never get it back." いま自分の人生に一番大切なことをぜひ一度考えてみてください。

タイ王国の高校とのオンライン交流(外務省 JENESYS 事業)



山田 梨緒 (26期 グローバルビジネス科)

食べ物・恋愛・ファッションの3つのテーマで日本語と英語を交えて話し合いをしました。最初は緊張しましたが、相手が高校生で日本語を学んでくれたので打ち解けて楽しく交流することが出来ました。

中国瀋陽市・東北育才学校との交流

J 英語部 中田 結菜
(26期 国際文化科)



英語部は、東北育才学校と自分達の街の魅力や学校の特色などを発表しました。高校生活を紹介します場面では、中国の学生がいかに勉強熱心かを知り、刺激を受けました。お互いの母語ではない英語であっても、その場で考えてたくさん質問をしたり、お互いの母語を教え合ったりして、尊重し合いながら交流を深めました。(中国側)
Northeast Yucai Foreign Language School
Shucheng Dai & Yue Jiao et al
SIT and the Chinese Northeast Yucai Foreign Language School decided to have a zoom event to share stories, culture and facts about each other's countries. Using English as the communication language, students shared with each other many things and found out how different and similar they were to one another. At the end of the event, no one wanted to hang up the zoom call. They knew that even though this was the end of the call, they had made new international friends.

H 鷺見 萌夏
(21期 国際文化科)

上智大学文学部新聞学科でメディアやジャーナリズムに關しての勉強をする傍ら、ウェブライターとして色々な人や企業に取材し、記事を書く活動もしています。私は高2の時にカナダ・アルバータ州との交換留学プログラムに参加したこと、自分の世界が広がり動き出すということを知りました。ピースボートで世界一周をしたり、大学でアラビア語を学んだり、ライターとして60人以上の人に取材をしたりとアクティブな自分が生まれたと感じています。ぜひ勇気を出して一歩目を踏み出してみてください。

N 富田 花野
(22期 国際文化科)

私が高2の時にトビタテ留学 JAPAN に合格し、アフリカ・ガーナ共和国でボランティアをした経験は今でも私の人生に影響を与えています。実際に自分の足を動かし事実を見られる人になりたいと思えたのも、この経験があってこそです。先生や親、友達のアドバイスを大切にしつつも、最終的には自分が一番ワクワクする道を進んでくださいね。

*全文はホームページに掲載しております。

a 各記事のアルファベットは地図上の位置とリンクしています

留学生たち International Students 2021.03 ~ 2022.03



ティナ(マレーシア)

Aleya Qistina Binti Ismail

コロナ禍でも、温かく受け入れてくださってありがとうございます。お琴や茶道など、SIT生とともに日本の文化を学ぶことができたことや、沢山の友人や新しい家族に出会えたことは私にとって一生の財産です。



ジェームス(フィリピン)

James Rommel Barriga Guevara

アニメに出てくるあこがれの日本の高校生生活や部活をSIT生と一緒に沢山体験できました。札幌はなまら寒かったですが、ワカサギ釣りやスキーの後の露天風呂はなまら最高でした。また絶対にお会いしましょうね！



アールシ(インド)

Aarushi Sengar

SITで様々なバックグラウンドを持つ高校生と一緒に授業を受けて、とても勉強になりました。インドとの気温差にはとても驚きましたが、沢山の温かい人々に迎えていただき幸せでした。お互い、夢を実現しましょう。

ホストファミリーより Comments from Their Host Family

- ・日本語が上手で、礼儀正しく、もっと長い期間受け入れをしたいくらいでした。
- ・自分の子どもが英語を話している姿を見ることができ、新鮮でした。
- ・高校生の子もだけではなく、弟妹とも言葉を超えて通じ合える姿を見ることができた。
- ・国際情報に入学させて良かった、と感じました。
- ・振り袖を着て初詣に行くなど、日本らしいお正月と一緒に過ごすことができました。
- ・国際情報に子供を通わせているからこそその貴重な体験をさせてもらった。

- ・スマホのアプリを通して微妙なニュアンスも伝えあうことができ、困らなかった。
- ・大雪の影響で登校できない日もあり、申し訳なく感じた。
- ・暑い国から来て、風邪をひかないかだけが気がかりでした。



トミ(アルゼンチン) Augusto Tomas Rodriguez Voeffrey

2020年11月~2021年9月学校でたくさんの友達と先生に会いました。陸上部にも入りました。しょうどう、かどうとさどうなどの異文化体験もしました。また、発表を行ったり、Sapporo International Nightなどのイベントに参加したりしました。また神社や温泉などたくさんの場所を訪れ、たくさんの食べものを試しました。北海道が私の二番目の家になりました、この思い出は永遠になりました。この経験は忘れられないものになりました。Muchísimas Gracias!! (AFS体験談帰国前レポートより抜粋)

PTA・国際交流委員長

納藤 真澄

コロナ禍で直接の相互訪問ができない現状ですが、オンラインを利用した活発な交流が継続していることを嬉しく思います。今年は留学生を迎えることができ、歓送迎会のお手伝いできました。今後、また交流が盛んになっていくことを願っています。

生徒会・国際交流委員長

坂田 ほのか (27期 国際文化科)

国際交流委員会では、留学生の歓迎会・送別会を企画、開催しています。今期はタイ王国の高校生とのオンライン交流の機会もありました。海外の方と言語の壁を越えて関わっていくことで、私たちの英語力だけではなく、コミュニケーション力・プレゼンテーション能力等の力をつけることができています。また、現地の方に聞かなければわからない情報を得られたりもしました。国際交流は、実際に関わらないとできない経験をし、様々な力をつける良い機会となっています。



編集後記

国際情勢がめまぐるしく変化し、予測することが難しい現代社会においても、本校生徒は様々な国際交流の機会を通じて多角的な視座を獲得し、世界の人々と協働したり学び合ったりしながら逞しく成長していきます。学校ホームページでは、本稿で紹介させていただいた他にも、様々な事例や在校生・卒業生の活躍を紹介しています。是非ご覧ください。

